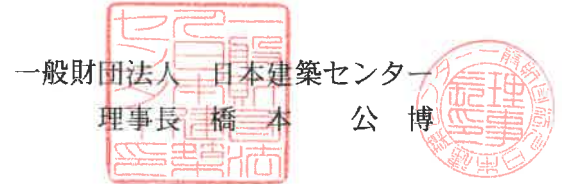




評 定 書（工法等）

株式会社 近藤本社
代表取締役 近藤 千秋 様
近藤鋼材株式会社
代表取締役 近藤 千秋 様



令和元年 7 月 2 日付けで、評定申し込みのあった下記の件について、当財団コンクリート構造評定委員会（委員長：林静雄）において慎重審議の結果、平成 26 年 11 月 19 日付け評定書（評定番号：BCJ 評定-RC0305-02）のとおり、本件は、申し込みの範囲において、当委員会で定めた基準に照らし、妥当なものであると評定します。

なお、本評定書の有効期間は、本評定日より令和 6 年 10 月 13 日までとします。

令和元年 8 月 21 日

記

1. 件 名 溶接閉鎖形柱フープ・梁スターラップ「KFBリング」
2. 種 類 種 類：SD295A、SD345、SD390
呼 び 名：D10、D13、D16（但し、D10はSD295Aのみ）
形 状：JIS G 3112（鉄筋コンクリート用棒鋼）に適合した異形棒鋼
加工形状：矩形（正方形を含む）、五角形、六角形、八角形、平行四辺形
及び台形
加工工場：株式会社 近藤本社 原工場
3. 継手の性能 A 級（2015 年版建築物の構造関係技術基準解説書「鉄筋継手性能判定基準」による）
4. 評 定 区 分 更新
5. 変更の内容 1) 準拠規基準等を最新版に変更
・建築物の構造関係技術基準解説書（2015）
2) 代表者の変更
3) 申請者の追加とそれに伴う品質管理体制の見直し
4) 溶接機 3 台を 2 台に削減（溶接 3 号機削除）
5) 溶接条件検知要領の見直し
上記項目以外は評定報告書（BCJ 評定-RC0305-02）のとおり
6. 備 考
本評定は、設計・施工・品質管理等が適切に行われることを前提に、提出された資料に基づいて行ったものであり、個々の工事等の実施過程及び実施結果の適切性は評定の範囲に含まれていない。また、本評定は申込者による自主管理方法について行われたものであり、受入れに際しては、工事管（監）理者の判断による受入検査が行われることを前提としている。